

団体名： NPO 法人 大網お助け隊

事業・活動名：高齢者の生活支援・子育て世代の支援・障がい者への支援・一般生活課題の支援・高齢者、障がい者、子育て世代の外出支援・福祉有償運送事業

使途&助成金額：福祉車両維持費（自動車保険、車検費用、ガソリン代）、チラシ印刷費
通信運搬費（インターネット利用料金、PC ソフトサブスクリプション費用）
会費（安全運転管理者法定講習、安全運転協会費、福祉有償運送講習会費）
ボランティア保険 300,000 円

開催頻度

事務所受付は（月）～（金） 支援は年末年始を除き無休

事業内容

《対象》高齢者、子育て世代、障がい者、要介護者

《支援内容》 通院・買い物等の移動支援、掃除・洗濯等家事支援、草刈り等庭仕事・簡単な大工仕事、学童園児の送迎等子育て支援、付添い・買い物・ゴミ出し等代行支援、福祉有償運送（要介護認定者/障がい者）

事務所は長屋門、母屋、離れが点在する広い敷地のお屋敷内の建物にあり、看板が通りにはないため大きな青石の門の前でスタッフの方にお出迎え頂きました。

事務所では総括コーディネーター兼安全運転管理者の杉本さん、広報担当の永田さん、家事支援担当コーディネーターの安岡さんから活動の概要を伺いました。

はじめは 2010 年にまちサポお助け隊として発足。2014 年には市の「協働事業」採択され、2016 年には NPO 法人化、2017 年には市の介護予防・日常生活支援総合事業に参加、2019 年からは福祉有償運送事業も開始するなど活動の幅を広げています。

利用者・支援者がともに登録する「会員登録制」で、支援を希望する「利用会員」は利用の 3 日前までに依頼をし、有償ボランティアとして支援をする「協力会員」への橋渡しはコーディネーターが行います。家事や草刈りなど屋外作業、病院への送迎や買い物同行など支援内容ごとに料金も決まっており、リーフレットにも明記されています。

事務所にはパソコンが 5 台以上あって取材の間もスタッフの皆さんは業務中。IT に強い杉本さんを中心に、支援依頼の受付や調整手配、料金計算など様々な業務はシステム化されており、運営スタッフを支えています。一方利用料金は毎月地区ごとの担当スタッフが一軒ごとに集金して回ります。見守りを兼ねた重要な業務で、利用者さんの声を聞いたり、生活状況の変化もキャッチしています。

活動の中心は定年後の 60～80 代の皆さんです。協力会員さんたちは普段はそれぞれに活動をしています、顔を合わせての情報共有も大事にしており、毎月分野ごとの連絡会や定例会を行っています。家事支援の場合は特に家庭ごとのやり方の確認が必須で、女子会は重要

とのこと、共感です。また年に数回は事務所前の広いお庭で芋煮会やバーベキューなども開催し、楽しい時間を過ごしているそうです。今は少ない子育て支援を増やして子育て世帯も活動に引き込むことが今後の課題との事です。

2019年に市社会福祉協議会から引き継いだ形の「福祉有償運送」は対象者を介助が必要な高齢者（要介護認定者）や障がい者に限定し、非営利法人が道路運送法による登録をして、営利に至らない範囲で対価を受け取る移動サービスです。法的手続きを踏むことでの事務作業の増加、運転資格者への安全運転研修、毎日の点呼記録・管理など大変なことも多いとの事でした。

エコロ制度の日常生活支援でも送迎の希望はありますが、車送迎は万一事故の際、個人の自動車保険に頼ることになり、色々な課題があります。今回地域のたすけあいの場での先行事例をお聞きすることができ、学びの多い訪問となりました。

ホームページ

<https://www.machisapootasuketai.com>

連絡先

受付・問い合わせ 080-5543-9163

福祉委員 西原和代

